

セットアップマニュアル

パソコンソフトウェアパッケージ
For Windows®

HIDIC
S10 α シリーズ

2 α
4 α
S10mini
シリーズ

対象機種

HIDIC-S10/4 α	NESP-S25M
HIDIC-S10/4 α F	NESP-4 α F
HIDIC-S10/4 α H	NESP-4 α H
HIDIC-S10/2 α	NESP-S25E
HIDIC-S10/2 α E	NESP-2 α E
HIDIC-S10/2 α H	NESP-2 α H
HIDIC-S10/2 α Hf	NESP-2 α Hf
S10mini モデルS	
S10mini モデルH	
S10mini モデルF	
S10mini モデルD	
S10mini モデルC	

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問合わせください。

1998年	6月	(第1版)	SAJ-3-301 (A)	(廃版)
1998年	9月	(第2版)	SAJ-3-301 (B)	(廃版)
1998年	12月	(第3版)	SAJ-3-301 (C)	(廃版)
2000年	1月	(第4版)	SAJ-3-301 (D)	(廃版)
2003年	5月	(第5版)	SAJ-3-301 (E)	(廃版)
2007年	9月	(第6版)	SAJ-3-301 (F)	

- このマニュアルの一部、または全部を無断で転写したり複製することは、固くお断りいたします。
- このマニュアルの内容を、改良のため予告なしに変更することがあります。



安全上のご注意

- システムの構築やプログラムの作成などは、このマニュアルの記載内容をよく読み、書かれている指示や注意を十分理解してから行ってください。誤操作により、システムが故障することがあります。
- このマニュアルは、必要なときすぐに参照できるように、手近なところに保管してください。
- このマニュアルの記載内容について疑問点または不明点がございましたら、最寄りの弊社営業またはSEまでお知らせください。
- お客様の誤操作に起因する事故発生や損害については、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 弊社提供ソフトウェアを改変して使用した場合に発生した事故や損害については、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 弊社提供以外のソフトウェアを使用した場合の信頼性については、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- ファイルのバックアップ作業を日常業務に組み入れてください。ファイル装置の障害、ファイルアクセス中の停電、誤操作、その他何らかの原因によりファイルの内容を消失することがあります。このような事態に備え、計画的にファイルのバックアップを取っておいてください。
- 弊社製品が故障や誤動作したりプログラムに欠陥があった場合でも、使用されるシステムの安全が十分に確保されるよう、保護・安全回路は外部に設け、人身事故や重大な災害に対する安全対策が十分確保できるようなシステム設計としてください。
- 非常停止回路、インタロック回路などはPLCの外部で構成してください。PLCの故障により、機械の破損や事故の恐れがあります。
- 運転中のプログラム変更、強制出力、RUN、STOPなどは十分安全を確認してから行ってください。誤操作により、機械の破損や事故の恐れがあります。
- サスペンド機能を持ったパソコンを使用する場合は、サスペンド機能をOFFにしてください。このシステムを実行中にサスペンド機能が動作すると正常に動作しないことがあります。
- 制御用の電源ケーブルなどからのノイズがパソコン、PCs接続ケーブルに誘導して誤動作することのないように、ノイズ源からパソコン、PCs接続ケーブルを離してご使用ください。
- PCs接続ケーブルのコネクタなどの金属部分に触る場合には、パソコンやPCsの障害を防止するため、あらかじめアース付き筐体などに触れて人体に帯電している静電気を放電してから、金属部分に触れてください。

このマニュアルは、以下のプログラムプロダクトの説明をしたものです。

<プログラムプロダクト>

S-7890-49 「4 α リプレース用ラダー図システム」 (01-00)

変更内容 (SAJ-3-301) 「4 α リプレース用ラダー図システム」 (01-00)

追加・変更内容	ページ
4 α リプレース用ラダー図システム新規サポート	v, 2, 10, 11

上記追加変更の他に、記述不明瞭な部分、単なる誤字・脱字などについては、お断りなく訂正しました。

はじめに

HIDIC-S10/2 α 、HIDIC-S10/4 α 、10miniシリーズ用パソコンソフトウェアパッケージをお求めいただき誠にありがとうございます。

このソフトウェアパッケージは、汎用パソコン（DOS/V機）のWindows®上で手軽に快適にプログラミング、デバッグ、保守が行える環境を提供します。

お求めになったソフトウェアパッケージをパソコンにインストールする前に、さまざまなハードウェアの準備、初期設定が必要になります。このマニュアルは、これらの作業で各ソフトウェアパッケージに共通するものについてまとめたものです。各ソフトウェアパッケージに固有のインストール方法や注意事項などは個別のオペレーションマニュアルを参照してください。

<このマニュアルの読み方>

ソフトウェアパッケージをインストールする前に必ず読んでください。

このマニュアルは、DOS/VパソコンおよびWindows®に関する基礎知識があることを前提に記述しています。DOS/VパソコンやWindows®の基本となる操作については、各々の導入マニュアルやユーザーズマニュアルなどを参照してください。

このマニュアルの構成、概要は、以下のようになっています。

1 ソフトウェアパッケージの概要

各ソフトウェアパッケージの概要、特長について説明しています。

2 ハードウェアの準備

必要なハードウェアの仕様および構成方法について説明しています。

3 パソコンのセットアップ

ソフトウェアパッケージをインストールする前に必要なパソコンの設定方法について説明しています。

付 録

このソフトウェアパッケージを使用していくうえで参考になるとと思われる情報について説明しています。

NESP（Nissan Electronic Sequence Processor）シリーズは、下記の対応を参照のうえ使用してください。

【HIDIC-S10 α シリーズ】		【NESPシリーズ】
HIDIC-S10/4 α	…………	NESP-S25M
HIDIC-S10/4 α F	…………	NESP-4 α F
HIDIC-S10/4 α H	…………	NESP-4 α H
HIDIC-S10/2 α	…………	NESP-S25E
HIDIC-S10/2 α E	…………	NESP-2 α E
HIDIC-S10/2 α H	…………	NESP-2 α H
HIDIC-S10/2 α Hf	…………	NESP-2 α Hf

<商標について>

- Microsoft® Windows® operating system, Microsoft® Windows® 95 operating system, Microsoft® Windows® 98 operating system, Microsoft® Windows® 2000 operating system, Microsoft® Windows® XP operating systemは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
 - Pentium、MMXは米国インテル社の登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

<用語の定義>

Nコイル：パソコン上に表示されたシートにシンボルを貼り付け、PCs上で実行できる形態に変換したラダープログラムです。

プロセス：パソコン上に表示されたシートにシンボルを貼り付け、PCs上で実行できる形態に変換したHI-FLOWプログラムです。

コンパイル：ラダー図やHI-FLOWのアプリケーションプログラムをPCsで実行できる形態（Nコイル、プロセスなど）に変換します。

ビルド：修正したアプリケーションプログラムだけコンパイルします。

リビルド：存在するすべてのアプリケーションプログラムをコンパイルします。

シート：ラダー図やHI-FLOWのアプリケーションプログラムなどを作成するための用紙で、パソコン上で管理します。

PCs：Programmable Controllersの略です。

S10α およびS10miniシリーズなどのPLCの総称です。

PLC：Programmable Logic Controllerの略です。

プログラム内蔵方式でシーケンス制御をする工業用電子装置です。

S10α およびS10miniシリーズなどもPLCに該当します。

<記憶容量の計算値についての注意>

- 2ⁿ計算値の場合（メモリ容量・所要量、ファイル容量・所要量など）
 - 1KB（キロバイト）＝1,024バイトの計算値です。
 - 1MB（メガバイト）＝1,048,576バイトの計算値です。
 - 1GB（ギガバイト）＝1,073,741,824バイトの計算値です。
- 10ⁿ計算値の場合（ディスク容量など）
 - 1KB（キロバイト）＝1,000バイトの計算値です。
 - 1MB（メガバイト）＝1,000²バイトの計算値です。
 - 1GB（ギガバイト）＝1,000³バイトの計算値です。

Windows® 2000, Windows® XP対応システムについて

Microsoft® Windows® 2000 operating system（以降、Windows® 2000と略します。）、Microsoft® Windows® XP operating system（以降、Windows® XPと略します。）対応のシステムは、下記一覧のとおりです。

下記一覧のバージョンよりも古いバージョンのシステムは、Windows® 2000, Windows® XPに対応していませんので、Microsoft® Windows® 95 operating system（以降、Windows® 95と略します。）、Microsoft® Windows® 98 operating system（以降、Windows® 98と略します。）だけの対応となります。（下記一覧のシステム名は、以降、各システムと略します。）

<Windows® 2000, Windows® XP対応システム一覧>

No.	システム名	型式	バージョン	Windows® 2000	Windows® XP
1	S10Toolsシステム	S-7890-01	07-05	○	○
2	ラダー図システム	S-7890-02	07-05	○	○
3	HI-FLOWシステム	S-7890-03	07-02	○	○
4	CPMSロードシステム	S-7890-04	07-04	○	○
5	CPMSEロードシステム	S-7890-05	07-04	○	○
6	CPMSデバッグシステム	S-7890-06	07-02	○	○
7	CPMSEデバッグシステム	S-7890-07	07-02	○	○
8	GP-IBロードシステム	S-7890-08	07-01	○	○
9	一括セーブ/ロードシステム	S-7890-09	08-01	○	○
10	RPDP/S10 SYSTEM	S-7891-10	03-03	○ (*2)	× (*1)
11	NX/ACP-S10	S-7891-11	01-02	○ (*2)	× (*1)
12	NX/Ladder	S-7891-12	02-01	○ (*2)	× (*1)
13	NX/Tools-S10システム	S-7890-13	07-02	○	○
14	NX/HOST-S10	S-7890-14	07-01	○	○
15	4αラダー図システム	S-7890-17	07-05	○	○
16	4αHラダー図システム	S-7890-18	07-05	○	○
17	ラダー図コメントコンバータシステム	S-7890-19	06-01	○	○
18	H7338サポートシステム	S-7890-20	07-01	○	○
19	高速リモートI/Oシステム	S-7890-21	07-01	○	○
20	CPU間リンクシステム	S-7890-22	07-01	○	○
21	4チャンネルアナログパルスカウンタシステム	S-7890-23	07-01	○	○
22	外部機器リンクシステム	S-7890-24	07-02	○	○
23	S10ET LINKシステム	S-7890-25	07-02	○	○
24	J.NETシステム	S-7890-27	07-02	○	○
25	OD.RING/SD.LINKシステム	S-7890-28	07-03	○	○
26	ET.NETシステム	S-7890-29	07-01	○	○
27	FL.NETシステム	S-7890-30	07-03	○	○
28	D.NETシステム	S-7890-31	07-04	○	○
29	BSCシステム	S-7890-32	07-01	○	○
30	HDLICシステム	S-7890-33	07-01	○	○
31	モニタ専用ラダー図システム	S-7890-34	07-04	○	○
32	モニタ専用HI-FLOWシステム	S-7890-35	07-01	○	○
33	IR.LINKシステム	S-7890-36	07-02	○	○
34	4αリプレース用ラダー図システム	S-7890-49	01-00	○ (*3)	○ (*3)
35	クロスCコンパイラ (モニターグラフィックス・ジャパン株式会社製)	MCP68K	5.3	○ (*2)	× (*1)

○：対応、×：非対応

(*1) クロスCコンパイラ (No.34) は、Windows® XPに対応していないため、Windows® 2000で使用してください。

(*2) クロスCコンパイラ (No.34) は、Windows® 2000対応版（バージョン5.3以降）が前提です。

(*3) Windows® 95、Windows® 98には対応していません。

目 次

1	ソフトウェアパッケージの概要	1
1.1	ソフトウェアパッケージと対応機種	2
1.2	各ソフトウェアパッケージの説明	3
2	ハードウェアの準備	7
2.1	使用できるパソコン	8
2.2	PCsとパソコンの接続形態の概要	9
2.3	RS-232C直結接続	12
2.4	GP-IB直結接続	13
2.5	イーサネット直結接続	14
2.6	イーサネットLAN接続	15
3	パソコンのセットアップ	17
3.1	イーサネットカードのセットアップ	18
3.2	GP-IBカードのセットアップ	22
3.3	ソフトウェアパッケージのインストールとアンインストール	23
付 録	25
A.1	PCs接続ケーブル結線図	26

1 ソフトウェアパッケージ の概要

1 ソフトウェアパッケージの概要

1. 1 ソフトウェアパッケージと対応機種

■ 使用できるPCs機種

- HIDIC-S10/2 α 、2 α E、2 α H、2 α Hf
- HIDIC-S10/4 α 、4 α F、4 α H
- S10mini/モデルS、モデルH、モデルF、モデルD、モデルC

■ ソフトウェアパッケージと対応しているPCs機種

ソフトウェアパッケージによって対応するPCs機種が異なりますので注意してください。

パッケージ名称	型式	PCs機種					
		4 α 4 α F	4 α H	2 α	2 α E 2 α H 2 α Hf	S10mini 全機種 (*)	S10mini モデルC
S10Toolsシステム	S-7890-01			○	○	○	
ラダー図システム	S-7890-02			○	○	○	
HI-FLOWシステム	S-7890-03			○	○	○	
CPMSロードシステム	S-7890-04			○			
CPMSEロードシステム	S-7890-05				○	○	
CPMSデバッグシステム	S-7890-06			○			
CPMSEデバッグシステム	S-7890-07				○	○	
GP-IBシステム	S-7890-08			○	○		
一括セーブ/ロードシステム	S-7890-09			○	○	○	
4 α ラダー図システム	S-7890-17	○					
4 α Hラダー図システム	S-7890-18		○				
H7338サポートシステム	S-7890-20			○	○		
高速リモートI/Oシステム	S-7890-21			○	○		
CPU間リンクシステム	S-7890-22			○	○	○	
4チャンネルアナログパルスカウンタシステム	S-7890-23			○	○	○	
外部機器リンクシステム	S-7890-24			○	○	○	
S10ET LINKシステム	S-7890-25			○	○		
J.NETシステム	S-7890-27			○	○	○	
OD.RINGシステム	S-7890-28			○	○	○	
ET.NETシステム	S-7890-29			○	○	○	
FL.NETシステム	S-7890-30					○	
D.NETシステム	S-7890-31					○	
RPDP/S10システム	S-7891-10			○	○	○	
クロスCコンパイラ	MCP68K			○	○	○	
4 α リプレース用ラダー図システム	S-7890-49						○

○ : 対応

(*) S10miniモデルCを除く

1. 2 各ソフトウェアパッケージの説明

各種プログラミング、オプションモジュールのサポート、ユーティリティなど色々な種類のソフトウェアパッケージがあります。使用目的に応じて必要なソフトウェアを選定してください。

■ S10Toolsシステム（型式：S-7890-01）

ラダー図システムおよびHI-FLOWシステムの2つのプログラムが含まれています。2 α シリーズ、S10miniのラダー図、HI-FLOWのプログラミング、メンテナンスに使用します。すでにラダー図システム（型式：S-7890-02）またはHI-FLOWシステム（型式：S-7890-03）がインストールされている場合は、このパッケージをインストールしないでください。

■ ラダー図システム（型式：S-7890-02）

2 α シリーズ、S10miniのラダー図のプログラミング、メンテナンスに使用します。2 α シリーズでGP-IB接続される場合はGP-IBシステム（型式：S-7890-08）が別途必要です。すでにS10Tools（型式：S-7890-01）がインストールされている場合は、このパッケージをインストールしないでください。

■ HI-FLOWシステム（型式：S-7890-03）

2 α シリーズ、S10miniのHI-FLOWのプログラミング、メンテナンスに使用します。すでにS10Tools（型式：S-7890-01）がインストールされている場合は、このパッケージをインストールしないでください。

■ CPMSロードシステム（型式：S-7890-04）

2 α 用のOS（コンパクトPMS）ロード、メモリクリアに使用します。PSE α やDOS版のパソコンプログラミングツールでラダーOSを使用していて、Windows®版のパソコンプログラミングツールに移行される場合は、このシステムを使用してください。コンパクトPMSはラダーOSの上位互換性があります。

■ CPMSEロードシステム（型式：S-7890-05）

2 α E、2 α H、2 α HfのOS（コンパクトPMS）ロード、メモリクリアに使用します。S10miniにも使用できますが、OSロードは無視され（S10miniはOSプログラムがROMに内蔵のため）、メモリクリアの機能だけが有効になります。

■ CPMSデバッガシステム（型式：S-7890-06）

2 α のタスクのデバッグに使用します。

■ CPMSEデバッガシステム（型式：S-7890-07）

2 α E、2 α H、2 α Hf、S10miniのタスクのデバッグに使用します。

1 ソフトウェアパッケージの概要

■ GP-IBシステム (型式 : S-7890-08)

2 α シリーズのGI-IB接続でラダー図を使用する場合に必要です。

■ 一括セーブ/ロードシステム (型式 : S-7890-09)

システムプログラム、ユーザプログラム、設定パラメータの一括バックアップに使用します。

■ 4 α ラダー図システム (型式 : S-7890-17)

4 α 、4 α Fのラダー図のプログラミング、メンテナンスに使用します。

■ 4 α Hラダー図システム (型式 : S-7890-18)

4 α Hのラダー図のプログラミング、メンテナンスに使用します。

■ H7338サポートシステム (型式 : S-7890-20)

外部機器リンクモジュール (LWE046)、RS-232Cモジュール (LWE450) 用上位リンク (H-7338) プロトコルサポートプログラムのロードに使用します。このプログラムはラダー図システムのFD機能でロードします。

■ 高速リモートI/Oシステム (型式 : S-7890-21)

高速リモートI/Oモジュール (LWE100) のシステムプログラムロード、パラメータ設定に使用します。

■ CPU間リンクシステム (型式 : S-7890-22)

CPUリンクモジュール (LWE020) のシステムプログラムロード、パラメータ設定に使用します。

■ 4チャンネルアナログパルスカウンタシステム (型式 : S-7890-23)

4チャンネルアナログモジュール (PAF***, PAN***, LQA***)、パルスカウンタモジュール (PTF30*, LQC000) のサポートプログラムロード (S10miniはROMに内蔵のためローディング不要)、パラメータ設定に使用します。

■ 外部機器リンクシステム (型式 : S-7890-24)

外部機器リンクモジュール (LWE046)、RS-232Cモジュール (LWE450, LQE060) のシステムプログラムロード、パラメータ設定に使用します。

■ S10ET LINKシステム (型式 : S-7890-25)

ETリンクモジュール (LWE400) のシステムプログラムロード、パラメータ設定に使用します。

- J.NETシステム（型式：S-7890-27）
J.NETモジュール（LWE580, LQE040）のパラメータ設定に使用します。

- OD.RINGシステム（型式：S-7890-28）
OD.RINGモジュール（LWE580, LQE010, LQE011）のパラメータ設定に使用します。

- ET.NETシステム（型式：S-7890-29）
ET.NETモジュール（LWE550, LQE020）のIPアドレス、サブネットマスク設定に使用します。

- FL.NETシステム（型式：S-7890-30）
FL.NETモジュール（LQE000）のパラメータ設定に使用します。

- D.NETシステム（型式：S-7890-31）
D.NETモジュール（LQE070）のパラメータ設定に使用します。

- RPD P/S10システム（型式：S-7891-10）
2 α シリーズのC言語のプログラミング、デバッグに使用します。別売りのクロスCコンパイラ（型式：MCP68K）も必要です。

- クロスCコンパイラ（型式：MCP68K）
RPDP/S10システム（型式：S-7891-10J）と共に使用します。

2 ハードウェアの準備

2 ハードウェアの準備

2.1 使用できるパソコン

■ 使用できるパソコン

DOS/V機（PC/AT互換機）で動作します（日本電気（株）製PC-9800シリーズでは動作しません）。パソコンの仕様を以下に示します。なお、各ソフトウェアパッケージのマニュアルに記載している仕様と異なる場合は、このマニュアルの仕様を優先させてください。

項目	OS	Windows® 95 (*1)	Windows® 2000 (*1)	Windows® XP (*1)
		Windows® 98 (*1)		(*2)
CPU		Pentium 133MHz以上	Pentium 300MHz以上	
メモリ (RAM)		32MB以上	64MB以上	128MB以上
空きハードディスク容量 (*3)	20MB以上／システム (ただし、OSポート、オプションモジュールポートソフトウェアは、10MB以上／システム)			
FDドライブ	1台以上 (FDでソフトウェアをインストールする場合に必要)			
CD-ROMドライブ	1台以上 (CD-ROMでソフトウェアをインストールする場合に必要)			
イーサネット (10BASE-T)	1ポート以上 (パソコンとET.NETモジュールを接続する場合に必要)			
シリアル (D-sub9ピン)	1ポート以上 (PCsとパソコンをRS-232Cで接続する場合、またはET.NETモジュールにIPアドレスを設定する場合に必要)			
PCカード (PC Card Standard (JEITA V4.2) 準拠TYPE IIまたはTYPE III)	1スロット以上 (パソコンとパラレルインタフェースモジュール (LWZ400) を接続する場合、下記GP-IBカードと共に必要) GP-IBカード : PCMCIA-GPIB (型番 : 777438-02) (日本ナショナルインスツルメンツ株式会社製)			
ディスプレイ	800×600ピクセル以上の解像度			
Microsoft® Internet Explorer	バージョン4.01以降			

(*1) OSのサービスパックはソフトウェア添付資料を参照してください。

(*2) 「はじめに」内の<Windows® 2000, Windows® XP対応システム一覧>No.10, 11, 12, 35を除きます。

(*3) 各システムをインストールするために必要な容量です。さらにユーザプログラム保存用の空き容量が必要です。

2. 2 PCsとパソコンの接続形態の概要

■ 各接続形態の特長

PCsとパソコンの接続形態には4種類の方法があります。それぞれの特長を以下に示します。使用目的に応じて最適な接続形態を選択してください。各接続形態の詳細は次節以降で説明します。

● RS-232C直結接続

パソコンとCPUモジュールを1対1で接続します。全機種に対応し、オプションモジュールの増設なしに接続できる方法ですが、通信速度は遅くなります。ラダー図や容量の小さなHI-FLOW、C言語のプログラミング、保守に向いています。

● GP-IB直結接続

パソコンとパラレルインタフェースモジュール（LWZ400）を1対1で接続します。RS-232C直結接続よりも高速で通信できます。容量の大きなHI-FLOW、C言語のプログラミング、保守に向いています。4 α およびS10miniは対応していません。

● イーサネット直結接続

パソコンとET.NETモジュール（LWE550, LQE020）を1対1で接続します。ET.NETモジュールは固定IPアドレス（192.192.192.1）を使用します。パソコンのIPアドレスは192.192.192.2～254の範囲内で選択します。GP-IB直結接続よりもさらに高速で通信できます。容量の大きなHI-FLOW、C言語のプログラミング、保守に向いています。4 α は対応していません。

● イーサネットLAN接続

パソコン1台に対しET.NETモジュール（LWE550, LQE020）を複数台接続します。パソコン、ET.NETモジュールとも任意のIPアドレスを割り付けることができます。通信速度はイーサネット直結と同じです。4 α は対応していません。

参考として、ラダー図システムのFD機能で128KB（ラダー図28kステップ分に相当）のデータをセーブ／ロードしたときの通信速度の比較を下表に示します。ただし、イーサネットLAN接続は、パソコンとPCsが各1台しかイーサネット回線上に接続されていないときの結果です。

	RS-232C直結	GP-IB直結	イーサネット直結	イーサネットLAN
セーブ	286秒	10秒	5秒	
ロード	518秒	15秒	8秒	

PCs機種：S10/2 α H

パソコン仕様：MMX® Pentium® 200MHz、32MBメモリ

2 ハードウェアの準備

■ ソフトウェアパッケージと対応している接続形態

ソフトウェアパッケージによっては対応していない接続形態がありますので、注意してください。

パッケージ名称	型式	接続形態			
		RS-232C 直結	GP-IB 直結	イーサネット 直結	イーサネット LAN
S10Toolsシステム	S-7890-01	○	○	○	○
ラダー図システム	S-7890-02	○	○	○	○
HI-FLOWシステム	S-7890-03	○	○	○	○
CPMSロードシステム	S-7890-04	○	○	○	
CPMSEロードシステム	S-7890-05	○	○	○	
CPMSデバッグシステム	S-7890-06	○	○	○	
CPMSEデバッグシステム	S-7890-07	○	○	○	
GP-IBシステム	S-7890-08		○		
一括セーブ/ロードシステム	S-7890-09	○	○	○	
4 α ラダー図システム	S-7890-17	○			
4 α Hラダー図システム	S-7890-18	○			
H7338サポートシステム	S-7890-20	○	○	○	
高速リモートI/Oシステム	S-7890-21	○	○	○	
CPU間リンクシステム	S-7890-22	○	○	○	
4チャンネルアナログパルスカウンタシステム	S-7890-23	○	○	○	
外部機器リンクシステム	S-7890-24	○	○	○	
S10ET LINKシステム	S-7890-25	○	○		
J.NETシステム	S-7890-27	○	○	○	
OD.RINGシステム	S-7890-28	○	○	○	
ET.NETシステム	S-7890-29	○	○		
FL.NETシステム	S-7890-30	○		○	
D.NETシステム	S-7890-31	○		○	
RPDP/S10システム	S-7891-10	○	○	○	○
4 α リプレース用ラダー図システム	S-7890-49	○			

○ : 対応

■ PCs機種と対応している接続形態

PCs機種と対応している接続形態が異なります。GP-IBおよびイーサネット接続の場合は、オプションモジュールが必要です。

PCs機種	接続形態			
	RS-232C 直結	GP-IB 直結	イーサネット 直結	イーサネット LAN
2 α 、2 α E、2 α H、2 α Hf	○	○ (LWZ400)	○ (LWE550)	○ (LWE550)
4 α 、4 α F、4 α H	○			
S10mini (モデルS, H, F, D)	○		○ (LQE020)	○ (LQE020)
S10mini (モデルC) (S10/4 α シリーズからのリプレイス用)	○			

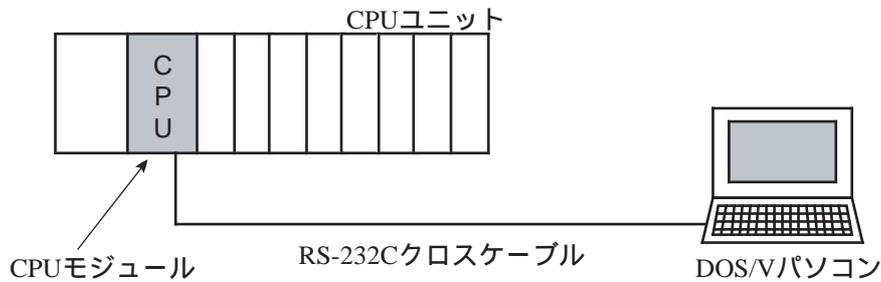
() は接続のために必要なオプションモジュール

○ : 対応

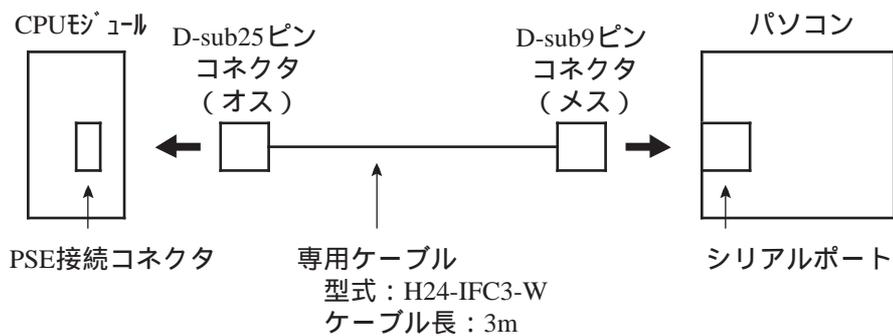
2 ハードウェアの準備

2.3 RS-232C直結接続

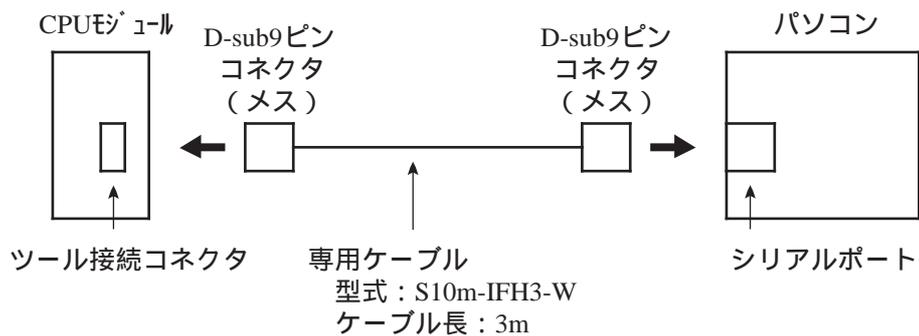
■ 構成



■ 2α、4αとパソコンの接続方法



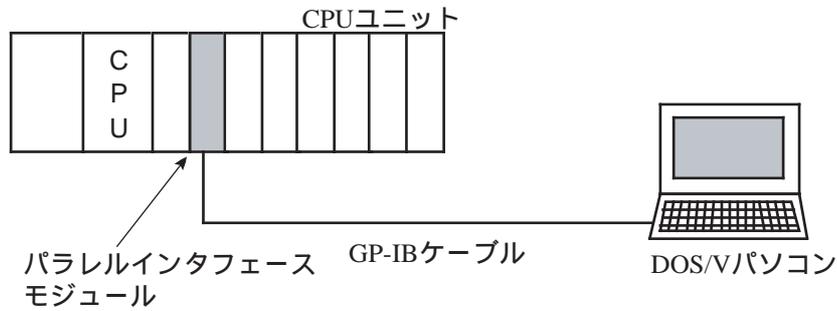
■ S10miniとパソコンの接続方法



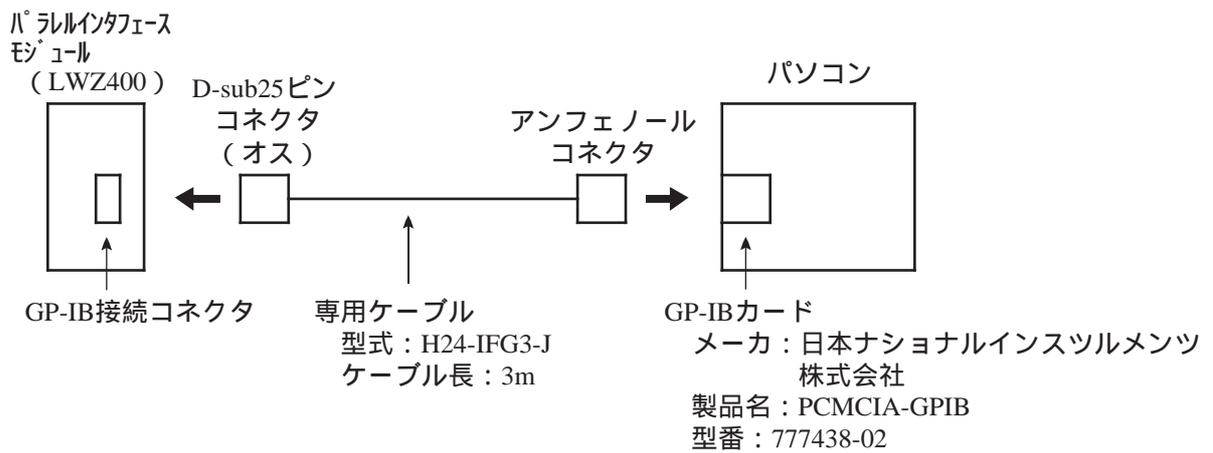
(注) 市販のRS-232Cクロス(リバース)ケーブルでも動作します。ケーブルは最長15mです。

2.4 GP-IB直結接続

■ 構成



■ 2αとパソコンの接続方法

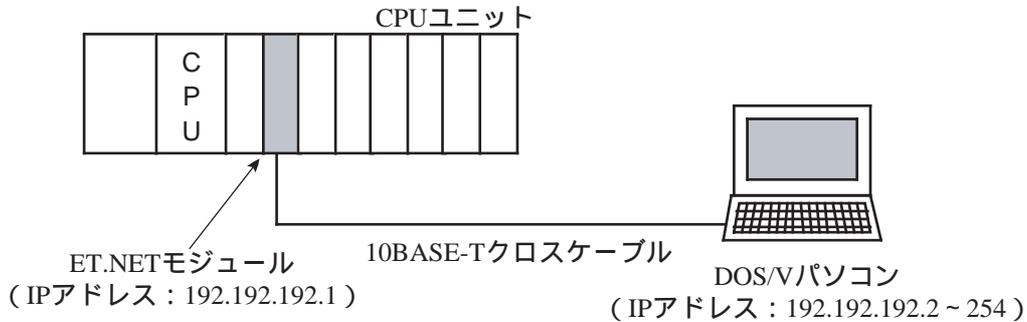


(注) 上記以外のGP-IBカードでは動作しません。

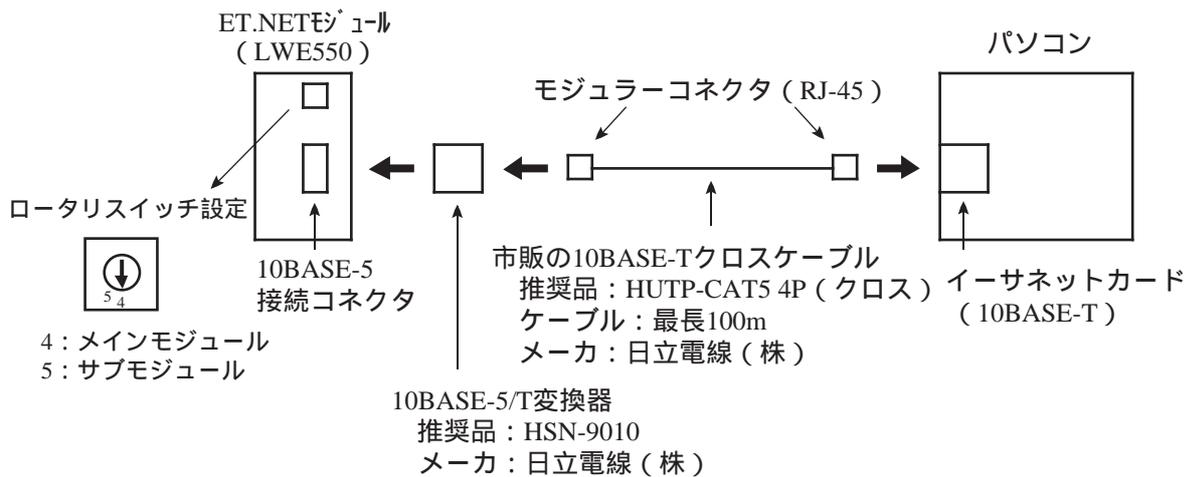
2 ハードウェアの準備

2.5 イーサネット直結接続

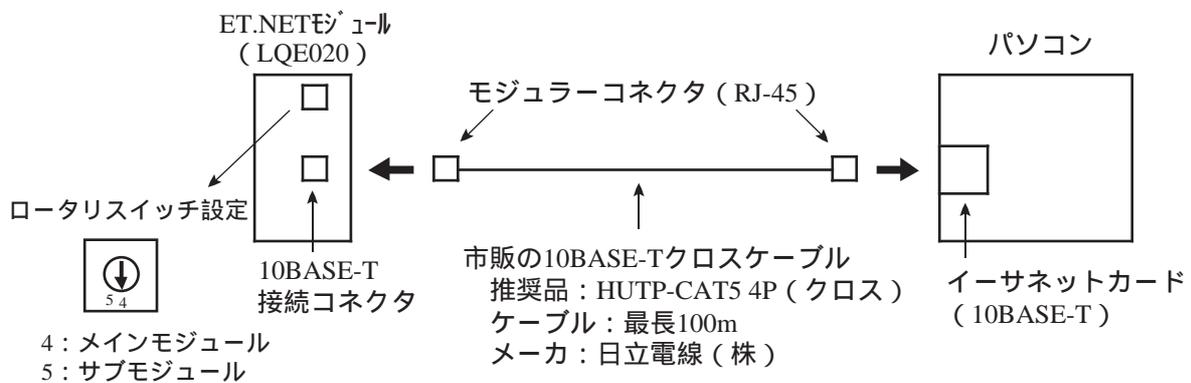
■ 構成



■ 2α とパソコンの接続方法

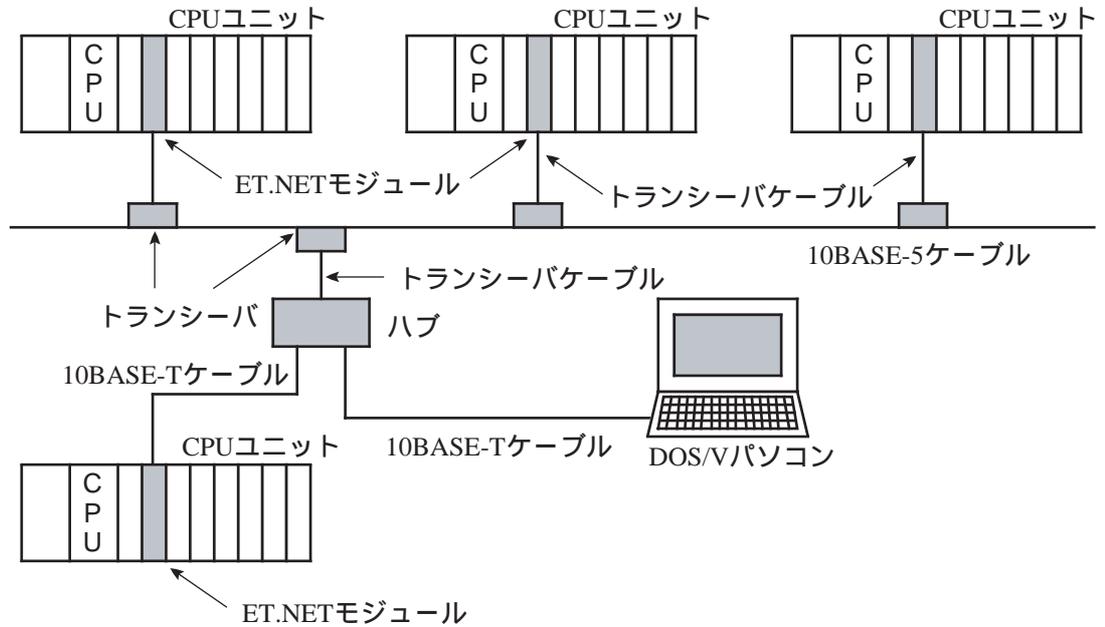


■ S10mini とパソコンの接続方法



2.6 イーサネットLAN接続

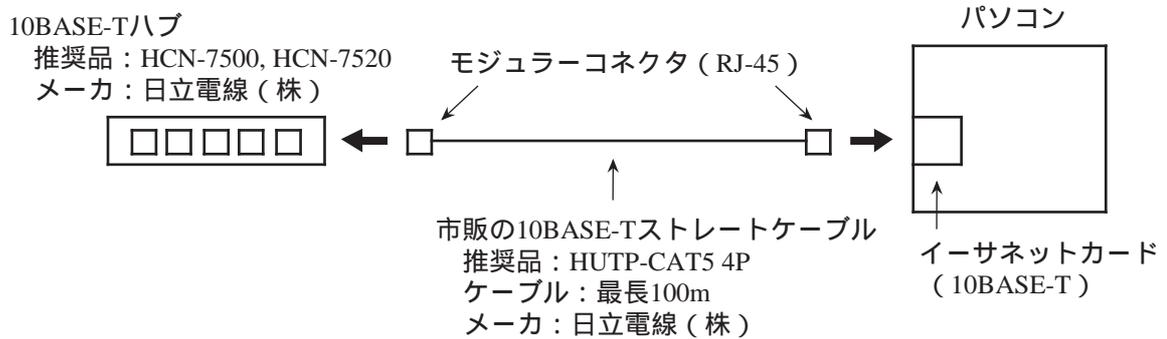
■ 構成



■ 10BASE-5の接続方法

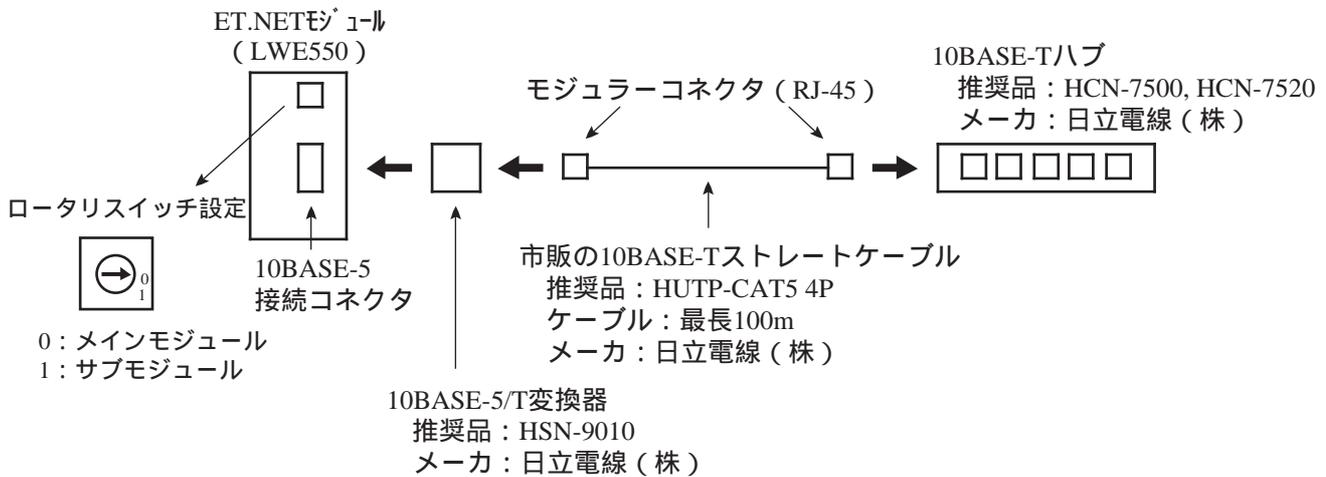
「ET.NET (LWE550) (マニュアル番号 SAJ-2-124)」または「ET.NETマニュアル (マニュアル番号 SMJ-1-103)」のハードウェアマニュアルを参照してください。

■ パソコンとハブの接続方法 (10BASE-T)



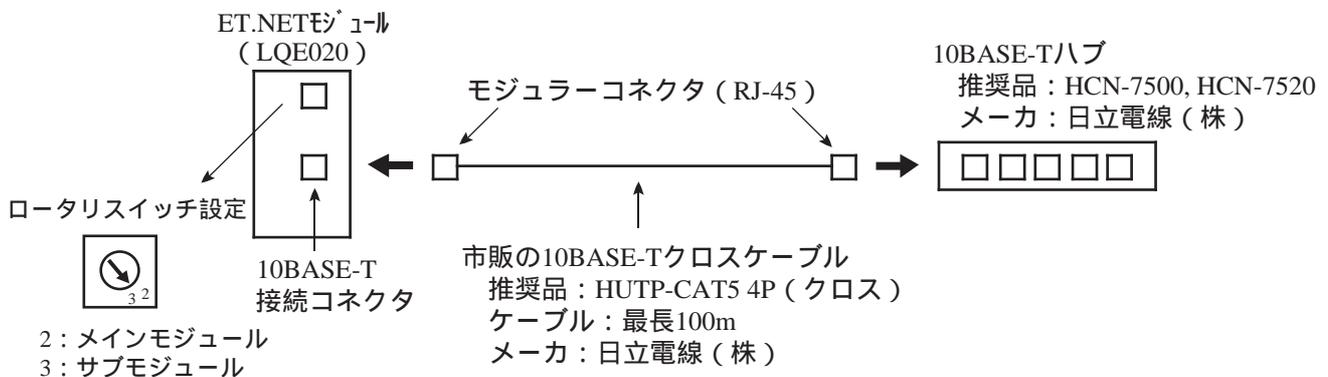
2 ハードウェアの準備

■ 2α とハブの接続方法 (10BASE-T)



(注) ET.NETモジュールのIPアドレスはRS-232C直結接続またはGP-IB直結接続で設定してください。設定は「ET.NETシステム」ソフトウェアパッケージ (型式: S-7890-29) を使用します。IPアドレスが設定されるまではイーサネットLAN接続での通信はできません。

■ S10mini とハブの接続方法 (10BASE-T)



(注) ET.NETモジュールのIPアドレスはRS-232C直結接続で設定してください。設定は「ET.NETシステム」ソフトウェアパッケージ (型式: S-7890-29) を使用します。IPアドレスが設定されるまではイーサネットLAN接続での通信はできません。

3 パソコンのセットアップ

3 パソコンのセットアップ

3. 1 イーサネットカードのセットアップ

イーサネット接続で使用される場合は、イーサネットカードのハードウェアのインストールおよびドライバのインストールが必要です。このときに、Windows®のセットアップCD-ROMが必要になる場合がありますので、あらかじめ準備してください。Windows®がプリインストールされているパソコンを購入された場合は、必要ありません。

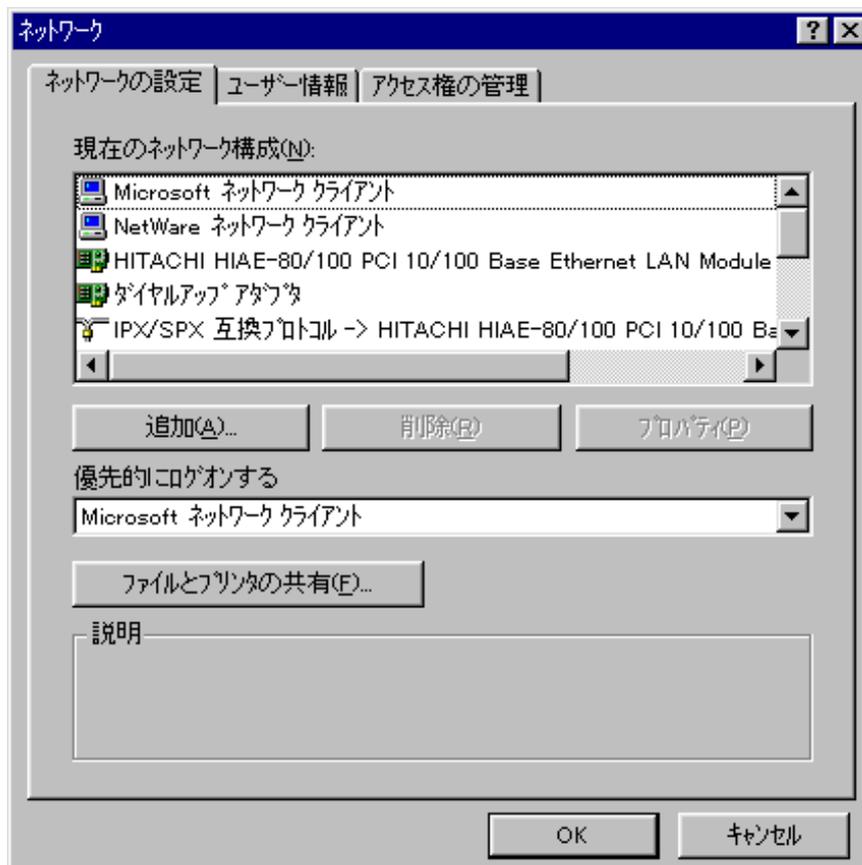
■ ハードウェアおよびドライバのインストール

ハードウェアおよびドライバのインストール方法は、イーサネットカードによって異なります。必ずイーサネットカードに添付されているマニュアルの指示に従ってインストールしてください。

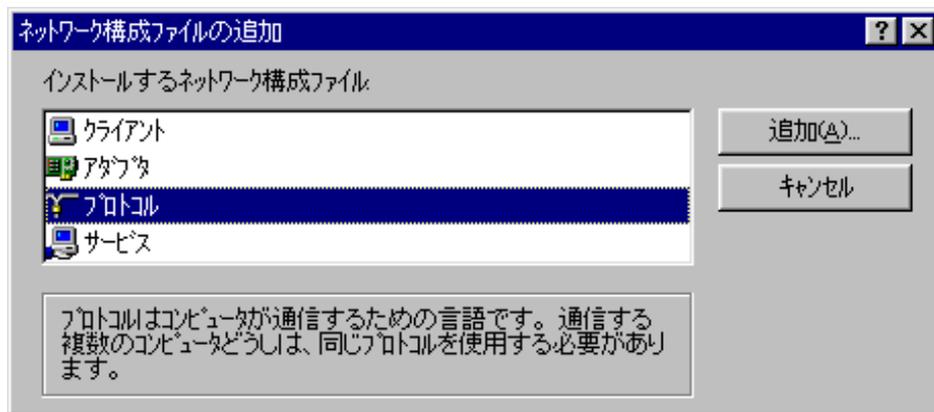
■ TCP/IPのインストール

イーサネットドライバのインストールでは、TCP/IPはインストールされませんので追加インストールしてください。TCP/IPを追加する手順は以下のとおりです。

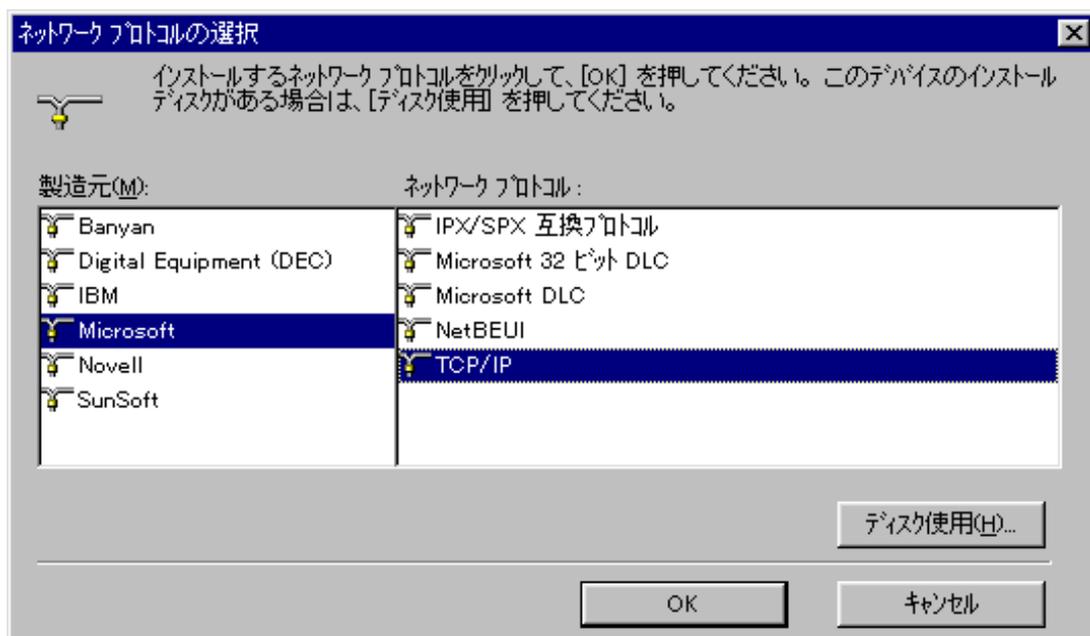
- (1) [スタート] ボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル] をクリックします。[ネットワーク] をダブルクリックします。[ネットワーク] ダイアログボックスが表示されますので、**追加** ボタンをクリックしてください。



- (2) [ネットワーク構成ファイルの追加] ダイアログボックスが表示されたら、「プロトコル」を選択して、**追加** ボタンをクリックしてください。

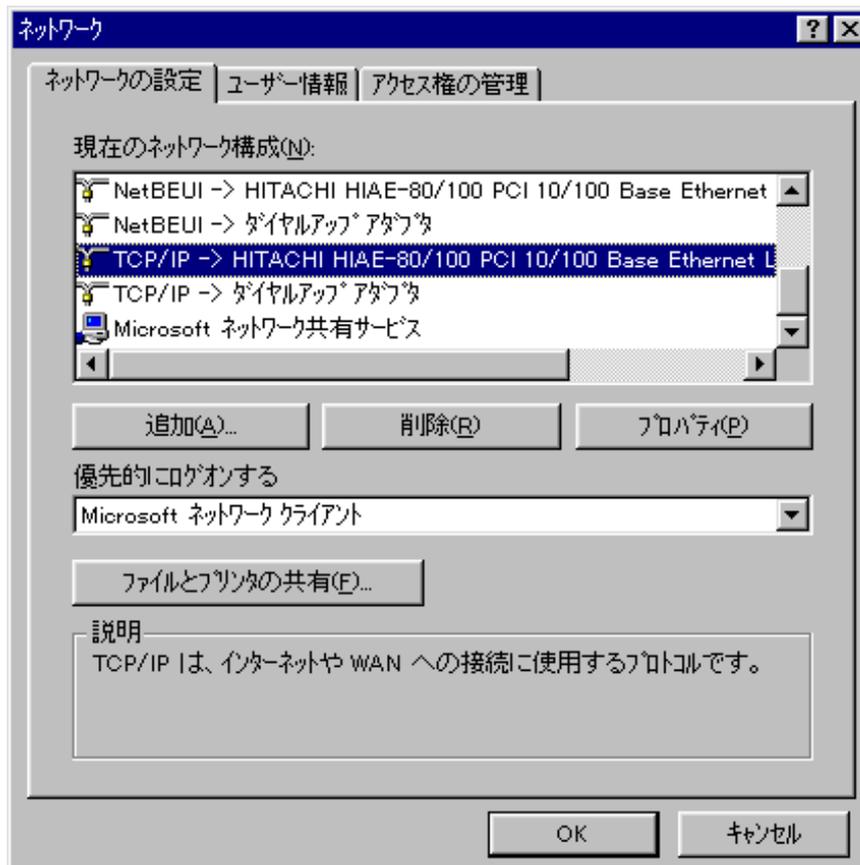


- (3) [ネットワークプロトコルの選択] ダイアログボックスが表示されたら、「製造元」は「Microsoft」を、「ネットワークプロトコル」は「TCP/IP」を選択して **OK** ボタンをクリックしてください。

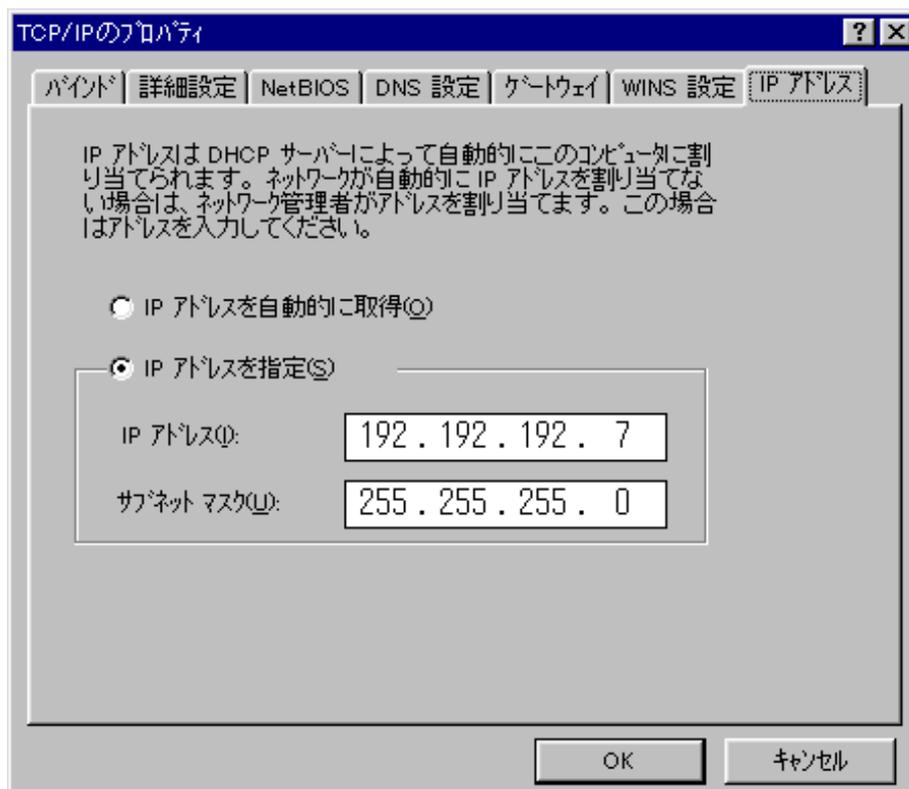


3 パソコンのセットアップ

- (4) 以下、ダイアログボックスの指示に従ってTCP/IPのファイルをコピーしてください。TCP/IPのファイルのコピーが終了すると、[ネットワーク] ダイアログボックスが表示されます。追加されている項目「TCP/IP -> (イーサネットカードの名前)」を選択し、**プロパティ** ボタンをクリックしてください。



- (5) [TCP/IPのプロパティ] ダイアログボックスが表示されたら [IPアドレス] のタブをクリックしてください。「IPアドレスを指定」のラジオボタンを選択し、「IPアドレス」および「サブネットマスク」を入力してください。入力が終了したら、**OK** ボタンをクリックしてください。イーサネット直結接続の場合、「IPアドレス」は「192.192.192.xxx」（xxxは2～254の任意の整数）を、「サブネットマスク」は「255.255.255.0」を入力してください。LAN接続の場合、「IPアドレス」、「サブネットマスク」はネットワーク管理者に確認してください。



- (6) [ネットワーク] ダイアログボックスが表示されたら、**OK** ボタンをクリックします。その後、パソコンを再起動すると、TCP/IPのインストールが完了します。

3 パソコンのセットアップ

3. 2 GP-IBカードのセットアップ

GP-IB接続で使用される場合は、GP-IBカードのハードウェアのインストールおよびドライバのインストールが必要です。GP-IBカードは日本ナショナルインスツルメンツ株式会社製のPCMCIA-GPIBだけが対応しています。

■ ハードウェアおよびドライバのインストール

必ずGP-IBカードに添付されているマニュアルの指示に従ってインストールしてください。ドライバをインストールするときには、[Windows用NI-488.2ソフトウェア (ボード名 : PCMCIA-GPIB)] をインストールしてください。ドライバを更新する場合は、日本ナショナルインスツルメンツ株式会社のホームページからドライバをダウンロードしてください。

URL

<http://www.ni.com/support/ja/download.htm#GPIB>

3.3 ソフトウェアパッケージのインストールとアンインストール

各ソフトウェアパッケージのオペレーションマニュアルに従ってインストールしてください。ソフトウェアパッケージの中にはパソコンにインストール不要のもの（PCsに直接ロードするもの）もあります。詳細は個別のオペレーションマニュアルを参照してください。

古いバージョンのソフトウェアがインストールされている場合は、アンインストールしてから、新しいバージョンをインストールしてください。アンインストール方法も各ソフトウェアパッケージのオペレーションマニュアルに従ってください。

注意

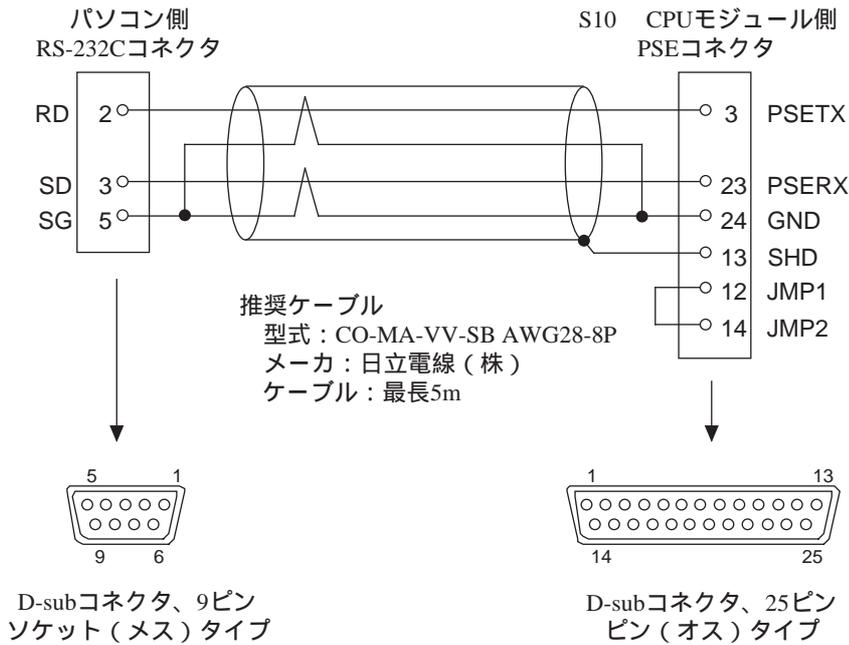
ソフトウェアをインストールおよびアンインストールする場合には、必ず各ソフトウェアパッケージのオペレーションマニュアルの手順に従ってください。マニュアルに書かれていないインストールやアンインストール方法では、正常に動作しなくなることがあります。

付 録

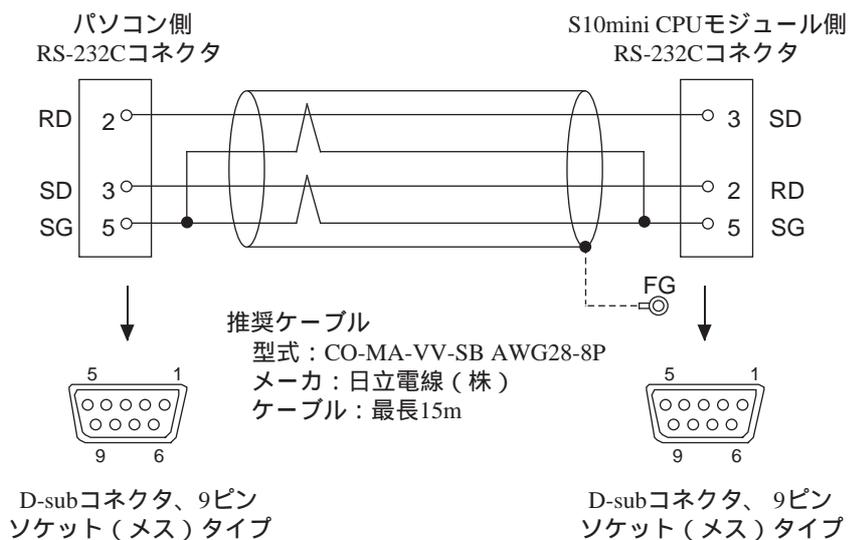
A. 1 PCs接続ケーブル結線図

PCs接続ケーブルを自作される場合は、以下の図面を参照してください。

■ RS-232C接続ケーブル (S10 α 用)

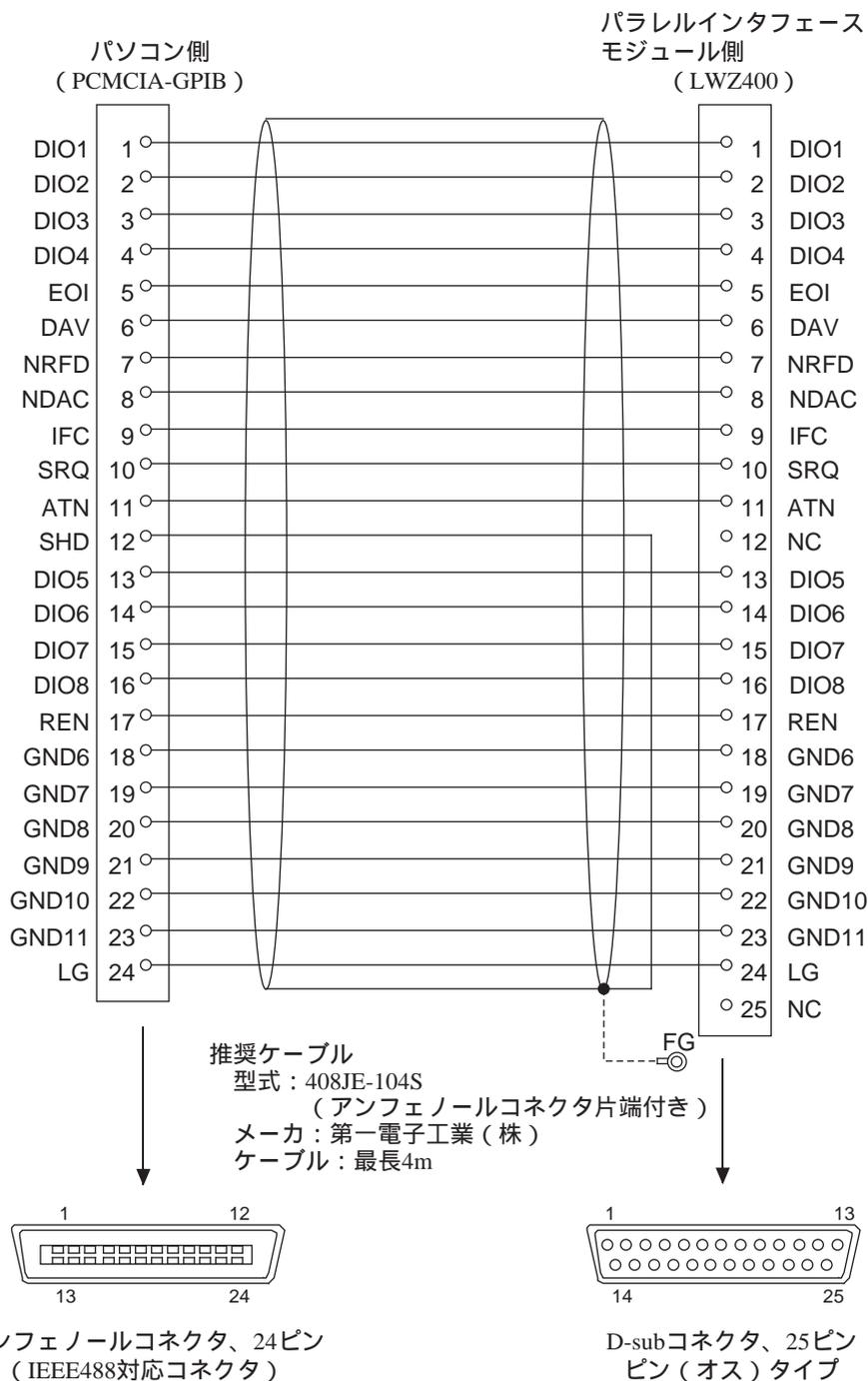


■ RS-232C接続ケーブル (S10mini用)



(注) ケーブルをPCsに常時接続する場合は、シールドをマウントベースのFG端子に接続してください。

■ GP-IB接続ケーブル (S10/2α用)



(注) ケーブルをPCsに常時接続する場合は、シールドをマウントベースのFG端子に接続してください。

HIDIC-S10 α , S10mini Windows®用ソフトウェアサポート用紙

貴社名	発行日	年	月	日
部署名	御氏名			
連絡先 TEL	FAX			
対象製品	製品名 () 型式 () バージョン Ver.____ Rev.____			
PCs機種	<input type="checkbox"/> 4 α <input type="checkbox"/> 4 α F <input type="checkbox"/> 4 α H <input type="checkbox"/> 2 α <input type="checkbox"/> 2 α E <input type="checkbox"/> 2 α H <input type="checkbox"/> 2 α Hf <input type="checkbox"/> S10mini モデルS <input type="checkbox"/> S10mini モデルH <input type="checkbox"/> S10mini モデルF <input type="checkbox"/> S10mini モデルD <input type="checkbox"/> S10mini モデルC (S10/4 α シリーズからのリプレイス用)			
パソコン	メーカー名 () 製品名 () プロセッサ () メモリ容量 _____MB ハードディスク空き容量 _____MB			
プリンタ	メーカー名 () 製品名 ()			
接続形態	<input type="checkbox"/> RS-232C直結 <input type="checkbox"/> GP-IB直結 <input type="checkbox"/> イーサネット直結 <input type="checkbox"/> イーサネットLAN			
PCs接続ケーブル	<input type="checkbox"/> H24-IFC3-W <input type="checkbox"/> H24-IFG3-J <input type="checkbox"/> その他 ()			
Ethernetカード	メーカー名 () 製品名 ()			

現象 (どのようなときにどのような症状が出て、どうしたらどうなったかを記入してください。)

この現象は再現性がありますか? はい いいえ

この現象が発生したときに同時に起動していたアプリケーションがあれば記入してください。

()

ご利用者各位

〒101-8010

東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地
株式会社日立製作所

お 願 い

各位にはますますご清栄のことと存じます。

さて、この資料をより良くするために、お気付きの点はどんなことでも結構ですので、
下欄にご記入の上、弊社営業担当または弊社所員に、お渡しくださいますようお願い申
しあげます。なお、製品開発、サービス、その他についてもご意見を併記して頂ければ
幸甚に存じます。

ご住所 〒	_____
貴会社名 (団体名)	_____
芳 名	_____
製品名	
ご意見欄	_____ _____